

平成 22 年 7 月 23 日

各位

会社名 株式会社サンリオ
代表者名 代表取締役社長 辻 信太郎
(コード番号 8136 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 江森 進
電話番号 03 (3779) 8058

業績予想及び配当予想の修正、ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 14 日に公表しました平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の業績予想及び配当予想を最近の業績の動向等を踏まえ下記のとおり修正いたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	33,339	3,243	2,688	1,229	11.47
今回修正予想 (B)	37,000	6,000	5,000	2,800	30.51
増減額 (B-A)	3,661	2,757	2,312	1,571	-
増減率 (%)	11.0	85.0	86.0	127.8	-
ご参考：前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	33,271	2,799	2,174	601	4.19

(2) 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	71,203	9,000	7,970	4,726	48.92
今回修正予想 (B)	74,200	11,500	10,100	6,200	67.89
増減額 (B-A)	2,997	2,500	2,130	1,474	-
増減率 (%)	4.2	27.8	26.7	31.2	-
ご参考：前期実績 (平成 22 年 3 月期通期)	73,875	9,289	8,249	4,373	44.72

(3) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	23,263	1,488	1,320	273	0.52
今回修正予想 (B)	24,900	3,000	2,300	900	8.74
増減額 (B-A)	1,637	1,512	980	627	—
増減率 (%)	7.0	101.6	74.2	229.7	—
ご参考：前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	23,493	1,213	362	658	4.85

(4) 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	50,530	4,967	4,315	2,088	18.71
今回修正予想 (B)	52,200	6,400	5,300	2,700	27.80
増減額 (B-A)	1,670	1,433	985	612	—
増減率 (%)	3.3	28.9	22.8	29.3	—
ご参考：前期実績 (平成 22 年 3 月期通期)	52,289	4,816	4,866	1,898	16.37

修正の理由

・連結業績予想の修正の理由

第 2 四半期累計期間および通期の業績予想に関しましては、売上高は想定為替レートより円高が予想されますが、欧州・米州のライセンス収入の大幅増加、国内ライセンス収入も下げ止まりから反転したことが主因で第 2 四半期累計期間で前回発表予想値に対して 36 億円増加、通期で 29 億円増加、営業利益は売上総利益の増益と販売費・一般管理費の削減により第 2 四半期累計期間で 27 億円の増益、通期で 25 億円の増益の見込みであります。

経常利益は営業外損益においても円高が進行し為替差損の発生が見込まれますが、営業利益の大幅増益により第 2 四半期累計期間で前回発表予想値に対して 23 億円の増益、通期で 21 億円の増益の見込みであります。特別損失として投資有価証券評価損および当期より新たな会計基準である資産除去債務が計上されますが、当期純利益は第 2 四半期累計期間で 15 億円の増益、通期で 14 億円の増益と予想され前回公表の業績予想数値を上方修正いたしました。

(注) 為替レート (第 2 四半期) 91.17 円/USD、121.09 円/EUR (通期) 89.93 円/USD、114.96 円/EUR

・個別業績予想の修正の理由

第 2 四半期累計期間の業績予想に関しましては、海外からのライセンス収入の伸長と国内ライセンス収入の増加及び国内物販事業の見直しも奏功し、為替差損の発生、及び、特別損失として投資有価証券評価損、テーマパーク運営子会社への出資金の評価損および資産除去債務の計上はありますが、営業利益の大幅な増益により前回公表数値の業績予想を修正いたしました。また通期の業績予想に関しても第 2 四半期累計期間の増収・増益分を取り込み上方修正いたしました。

●特別損失の計上について

第2四半期累計期間の連結におきましては、経済環境の悪化により投資有価証券評価損 159 百万円、そして主にハーモニーランドの借地に係る資産除去債務 429 百万円、個別におきましては、投資有価証券評価損 159 百万円、テーマパーク運営子会社への出資金に係る関係会社株式評価損 511 百万円、店舗等に係る資産除去債務 169 百万円の計上を見込んでおります。また、通期の連結におきましては、同理由により、投資有価証券評価損 159 百万円、資産除去債務 429 百万円、個別におきましては、投資有価証券評価損 159 百万円、関係会社株式評価損 851 百万円、資産除去債務 169 百万円の計上を見込んでおります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

●配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
普通株式 前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	0.00	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	5.00 (内、記念配当5.00)	—	10.00	15.00 (内、記念配当5.00)
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	10.00	10.00

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
B種優先株式 前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	0.00	—	454.90	454.90
今回修正予想	—	227.45	—	227.45	454.90
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	469.00	469.00

修正の理由

当社は、本年8月10日をもちまして創立50周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに今後も引き続きご支援を賜りたく、本日開催の取締役会において、平成23年3月期第2四半期末に1株あたり5円の記念配当を実施することにいたしました。これにともない、年間配当予想におきましても1株あたり10円から15円に修正いたします。

以上